

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会誌
「リハビリテーション・エンジニアリング」

編集委員／査読委員を公募します。協会誌の編集に興味があり、特集企画を実現したい方、リハビリテーション工学・本誌の学術発展に寄与頂ける方、ぜひご応募下さい。

編集委員は… 年4回（概ね4月、7月、10月、1月）、半日程度の編集会議を通して、協会誌の企画検討や編集作業を行います。そして、2年の任期（4号×2巻）のうち1号は、特集記事の主担当となり、中心的に企画編集を進めます。そのほか、各記事の執筆依頼などの業務を行います。編集委員会は、東京大学先端科学技術研究センターを主たる会場とし、ハイブリッド開催を再開しております（交通費支給）。

全国各地より、当事者、多様な立場の方からの応募をお待ち申し上げております。

次期 編集委員募集（任期：2023年4月～2025年3月）

査読委員は… 編集委員会に属しますが、多岐にわたる分野の投稿に対する適切かつ迅速な査読を推進することを目的とし、査読のみをご担当頂きます。通常の特集記事編集等の業務依頼はございませんので、4年の任期とさせていただきます。編集委員経験者のご応募、またご推薦も歓迎いたします。

査読委員募集（随時）（任期：2023年4月～2027年3月）

編集委員・査読委員は、原則として当法人の正会員であることが望ましいですが、本誌の記事の幅や査読の公正性を優先するため、必須とはしていません。

編集委員に応募される方は、氏名、所属、職種、お考えがあればリハビリテーション工学に対する思いや希望する特集企画の概要等をA4用紙1頁以内にまとめ、下記の編集事務局まで電子メールにて送信（または郵送）して下さい。選考の都合上、2月末日を第一次の応募締め切りと致します（定足数迄公募）。熱意のある方からのご応募お待ちしております。どうかよろしくお願ひ致します。査読委員に応募される方は、簡単なお略歴を送付願ひします。

申込み・問い合わせ先

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会誌編集事務局
神奈川リハビリテーション病院 研究部 リハ工学研究室内

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516番地

FAX: : 046-249-2598

Email : journal@resja.or.jp

現委員の声：(2021年4月～2023年3月担当)

前任の編集委員の方からお声掛けいただき、工学系や福祉機器系に強くない私がリハビリテーション・エンジニアリングで何ができるだろうと自問自答しながら返事をしたのをまだ鮮明に覚えています。当時、Virtual Reality (VR) や Augmented Reality (AR)、Mixed Reality (MR) について知りたいと考えていた私は、リハ工とはどこまで関係するのか上手く考えをまとめられないまま編集委員会に臨んでいました。編集委員会では多くの編集委員の皆さまに支えられ、私の「1」のイメージが瞬く間に「10」のイメージに、そして「100」の形に変貌していきました。編集委員の皆さまのアイデア、企画力、行動力に脱帽するとともに、なんて面白い企画会議だろうと感じたのは未だに忘れられません。コロナ禍で実際にお会いすることは叶いませんでしたが、対面で意見交換ができるときともしっかりと面白いのではないかと思います。多職種が集まりの編集企画会議でしたのでなかなかお会いする機会は限られてしまっていますが、いつかお会いできることを信じて改めてお礼申し上げます。まずは書面にて、貴重な機会をありがとうございました。(有久勝彦)

「2年の任期で、でも謝礼はないのですが」と旧知の石濱理事より本誌の編集委員について打診を受けたのが、ついこの間だったような気がします。リハビリテーション科と整形外科のダブルボードで民間病院勤務、地方在住の女医というマイノリティ属性な自分が、知り合う機会の少ない様々な属性を持つ多才な方々と協業して雑誌作りの一端を担う、これは自身にとってもより広い世界を知る得難いエキサイティングな経験でした。また、原案から特集を組ませていただいたのも楽しい経験でした。会議では編集委員の方々との討論でアイデアを膨らませて、さらに伝手(つて)をたどり原稿を依頼して(時には断られたり!)時勢にあった素晴らしい特集が組みあがりました。完成時はとてもうれしく感じました。毎号毎号がこのようにまるで一つの作品のように出来上がったのではないかと感じています。ただ一つ悔いを残すは、出版後に自己校正した自筆記事に痛恨の誤字を見つけたことだけです。まだまだ修行(?)が足らぬ次第。

今後ともリハ工学協会誌の益々の発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。(五十嵐有紀子)